

自動タイプ

給湯暖房機 (BL認定品)

エコジョストオート

JET

取扱説明書

設置方式	品名・機器コード	型式名	BL品番	号数
ハウスタイプ 屋外設置形	135-T700型	GH-247AAWS	XD-4205LRSJWQ	24号
	135-T702型	GH-247AATS	XD-4205LRS4JWQ	
	135-T703型	GH-247AATNS	XD-4205LRS6JWQ	
	135-T705型	GH-247AABS	XD-4205LRS8JWQ	
	135-T710型	GH-167AAWS	XD-2804LRSJWQ	
	135-T712型	GH-167AATS	XD-2804LRS4JWQ	
ロタンスタイプ 屋外設置形 屋内設置形	135-T713型	GH-167AATNS	XD-2804LRS6JWQ	16号
	135-T715型	GH-167AABS	XD-2804LRS8JWQ	
	135-T720型	GH-167AAW	XD-2804KRSJWQ	
	135-T722型	GH-167AAT	XD-2804KRS4JWQ	
	135-T725型	GH-167AAB	XD-2804KRSJWQ	
	135-T728型	GH-A167AAF	XD-2804KFSJWQ	

このたびは給湯暖房機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

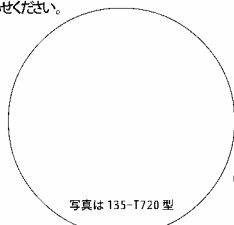
この給湯暖房機には保証書が付いています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年をお知らせください。



大阪ガス

もくじ

もくじ	ページ
この製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	8
ご利用前の準備	12
機器の準備	12
リモコンを「入」にする	13
現在時刻を合わせる	13
省電力機能について	14
お湯を使うには	15
テラックスタイプふるろアダプター使用時	17
自動でおふろを沸かすには	17
残り湯を沸かし直しするには	19
ふる温度をセットするには	20
ふる水位をセットするには	21
チャイムや音声ガイドの音量を調節する	22
テラックスタイプふるろアダプター使用時	23
おふろのお湯を熱くするには(追いだし)	23
おふろのお湯をぬるくするには	25
おふろのお湯を増やしたいときには	26
スタンダードタイプふるろアダプター使用時	27
自動でおふろを沸かすには	28
残り湯を沸かし直しするには	28
おふろのお湯を熱くするには(追いだし)	29
おふろが沸く時刻を予約するには	31
暖房運転をするには	33
放熱器の運転/停止	33
暖房スイッチ付台所リモコンでの運転/停止	33
浴室予備暖房について	34
浴室予備暖房スイッチ付台所リモコンでの運転/停止	34
運動について	35
暖房静音について	35
暖房静音の設定/解除	35
冬期の凍結予防をするには	36
点検のポイント・お手入れのしかた	39
故障かな?と思ったら	41
アフターサービスについて	44
仕様一覧	45

お使いいただく前に

はじめて使うときは

使い方

長くお使いいただくために

仕様一覧

【仕様表】

項目	内容			
品名	135-T720型	135-T722型	135-T725型	135-T728型
型式名	GH-167AAW	GH-167AAT	GH-167AAB	GH-A167AAF
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅470×奥行240×高さ600/30			
種類	給湯方式 先行止め式			
暖房方式	温水循環方式			
給排気方式	屋外強制排気方式			強制給排気方式
設置方式	屋外設置形			屋内設置形
点火方式	給湯・暖房 AC100V連続放電式(ダイレクト着火)			
使用水圧	100~500kPa(1.0~5.0kgf/cm ²)			
最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)			
給湯量	3.5ℓ/分			
暖房能力	0ℓ/分以上(締切り使用可)			
消費電力	定格	195W	210W	
凍結予防作動時	285W	300W		
接続	給湯	15A(R1/2オネジ)		
	給湯	15A(R1/2オネジ)		
	低温往き	QF16ジョイント		
	高温往き	QF16ジョイント		
	低温往き	QF16ジョイント		
	追いだし(注湯)	15A(G1/2オネジ)		
系統	オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)		
	電気	本体電源 AC100V(50/60Hz) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心		
安全装置	ファン回転検出装置(回転検出方式)		過熱防止装置(温度ヒューズ)	
	立消え安全装置(フレムロッド方式)		漏電安全装置(漏電リレー)	
	残火安全装置(ハイメタル式)		誘導管保護装置(セラミックソフター)	
	過圧防止安全装置(スプリング式)		凍結予防装置(電気ヒーター、ポンプ運転、燃焼)	
空たき安全装置(ハイメタル式)		過電流安全装置(ガラス管ヒューズ)		
空たき防止装置(水量センサー、水位電極)		凍結防止装置(ハイメタル)		

【能力表】 ※135-T728型の使用ガスは、都市ガス(13A)のみとなります。

使用ガス	1時間あたりのガス消費量kW(kcal/h)		出湯能力(最大)ℓ/min		能力kW(kcal/h)		ガス接続	
	給湯・暖房同時使用	給湯(最大)	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	追いだし	暖房		
都市ガス 13A	45.1(38,800)	34.9(30,000)	10.2(8,800)	16.0	10.0	13.2(11,340)	8.14(7,000)	15A (R1/2)
LPガス	45.1(38,800)	34.9(30,000)	10.2(8,800)	16.0	10.0	13.2(11,340)	8.14(7,000)	

- ガス: JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
- 出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高く設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
- 本位種別改良のためお知らせするに要することがあります。

お問い合わせ先
大阪ガス株式会社
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガスに連絡してください。

T26044

この製品の特長

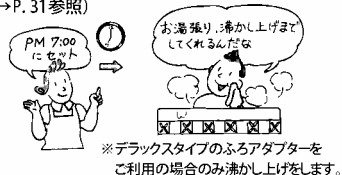
快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

- おふろもシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。

- スイッチオンの簡単操作でおふろが沸かせます。デラックスタイプのふろアダプター(→P. 17 参照)スタンダードタイプのふろアダプター(→P. 27 参照)

- 予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。(→P. 31 参照)



- 浴室から台所や他の部屋にいる人を呼び出すことができます。

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押す



- ※138-T313型の浴室リモコンは呼び出し機能が付属されていません。

環境にもやさしい!

- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。※出荷時の省電力モードは「入」になっています。(→P. 14 参照)

快適です!

- おふろのお湯の温度を自動的に保温します。いつも快適なおふろです。(→P. 17 参照)



※デラックスタイプのふろアダプターをご利用の場合のみ保温ができます。

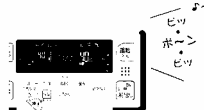
デラックスタイプ	スタンダードタイプ
保温ができます	保温ができません

- この機器は、取り付けるリモコンのタイプをお選びいただけます。

型式	セット内容
138-T310型	浴室リモコン・台所リモコン(暖房スイッチなしタイプ)
138-T311型	浴室リモコン・台所リモコン(暖房スイッチありタイプ)
138-T312型	浴室リモコン・台所リモコン(浴室予備暖房スイッチありタイプ)
138-T313型	浴室リモコン単品(呼び出しスイッチなしタイプ)
138-3136型	増設リモコン

- リモコンの設定は、基準値を音の違いでお知らせします。

項目	基準値
時刻	PM12:00
給湯温度	40℃
ふろ温度	40℃
保温時間	4時間
水位	4 (180ℓ)
注湯量	20ℓ



安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

- 危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
- 警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX 参照) 参照ページを示しています。

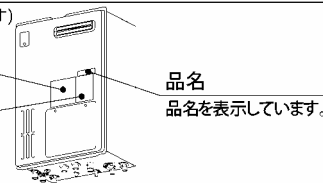
- 絵表示については次のような意味があります。



- 機器本体の表示について (図は、135-T720型を示します)

使用上の注意
使用上の注意について表示しています。

銘板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



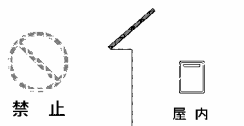
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

危険

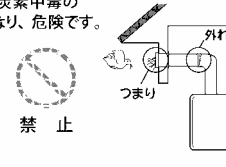
屋内設置の禁止(屋外設置形のみ)

- この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



給排気筒の定期点検(屋内設置形のみ)

- 給排気筒(給排気筒トップを含む)が外れていたり、鳥の巣・落葉・スズなどつまっているか定期的に点検をする。つまっていると排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



必ずお守りください

危険

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、
 - ①すぐに使用をやめ、給湯栓を全て閉じる。
 - ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
 - ③窓や戸を開け、ガスを外へ出す。(屋内設置形のみ)
 - ④お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。

- すべての処置が終るまでの間絶対に
 - 火をつけない
 - 電気器具のスイッチの入・切をしない
 - 電源プラグの抜き差しをしない
 - 周辺の電話を使用しない
 炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

警告

屋外設置の禁止 (屋内設置形のみ)

- 135-T728型は屋内設置用です。屋外には設置しないでください。雨水の浸入などで、故障の原因になります。

機器設置 (および付帯工事)

- 屋外設置形の機器は、増改築などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。
- 機器の設置、移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続は、専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取り外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

囲い禁止

- 設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

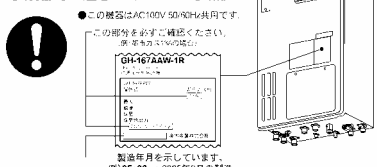
- 給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。
- 機器本体に無理な力を加えない
- 機器本体やガス接続部などに乗らない。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

地震・火災などの緊急時の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。
- お子様には十分な注意を
 - 浴槽のふろアダプターの付近で湯(水)に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながる可能性があります。
 - 浴槽にお湯張りしているときや沸かしているとき、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。

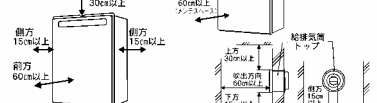
使用ガス、使用電源の確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種 (ガスグループ) および電源 (電圧・周波数) で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火ややけどをしたり、機器が故障する場合があります。



火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものは常に図の離隔距離を確保する。



- 機器や排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器や排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) の周辺ではガリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器や排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 排気口 (屋内設置形は給排気筒トップ) は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。

分解禁止

- お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造を行わない。異常作動して事故の原因となります。

異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、または、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②本書のP. 41～43「故障かな?と思ったら」に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、また、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

機器本体でのやけどに注意

- 機器の使用中止または使用後はしばらくは、排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし、暖房 (乾燥) 以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

空たき防止

- 追いだしスイッチを押すときは、必ず浴槽のふろアダプターより上 (5cm以上) に湯 (水) が入っていることを確かめる。水位がふろアダプターより低いと、空たきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となります。

ソーラー機器について

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。
- 夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。

配管カバー (または据置台) についての注意

- 配管カバー (または据置台) のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P. 40 参照)

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- ①シャワーなどお湯を使う場合は最初熱いお湯が出るため、手のひらで温度を確認してからお湯が安定してからお使いください。
- ②給湯使用時は出湯管 (蛇口) が熱くなるので、やけどに注意する。
- ③お湯を止めた後に再使用するとき、またお湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器が故障した場合には、一瞬熱いお湯が出るため、手のひらで温度を確認してからお湯が安定してからお使いください。
- ④シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。
- ⑤浴槽に入るときは、手でお湯の温度を確認して入浴する。浴槽内のお湯は上下に温度差がある場合がありますのでご注意ください。
- ⑥お風呂沸かし (沸かし直し) や追いだし時には、ふろアダプター付近は熱くなることがあるので注意する。

電気事故防止

- 電源コードを切断して延長しない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因となります。
- 電源プラグは根本まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。電源プラグにほこりがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 濡れた手で電源プラグをさらない。
- 感電のおそれがあります。
- コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えるなど、発熱による火災の原因となります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜き、コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事 (アース) が必要なので、アースがされているか確認する。アースを接続せよ

お使いいただく前に

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所リモコンは水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。



禁止

- リモコンはお子様がいらずしないよう注意してください。



禁止

飲用にお使いのときは

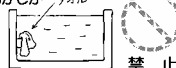
- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

断水のと

- 断水のとときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。
- 断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

入浴時の注意

- ふるアダプターを外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ぶないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽のふるアダプターをタオルなどでふさがないでください。循環不良によりお風呂沸かすことができなくなったり、機器の故障原因になります。



禁止

乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理してください。

特監法対象機器（屋内設置形のみ）

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。ステッカーが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



電源プラグを抜かない

- お手入れの際や水抜きを行い長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うときは電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらずみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電ルーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.36「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。（有料）
- 凍結がとけたあと再使用するとき、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P.38「再使用するとき」の項以下の操作を行ってください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を給湯を閉じる
- 停電または電源プラグをコンセントから抜いた状態が30分以上続いた場合は、リモコンの再設定（給湯温度・ふる温度・ふる水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したあとご使用ください。



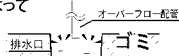
- 自動でお風呂を沸かしているときに、停電になると、ふる自動運転が停止し、ふるアダプターからの湯が止まります。通電後、P.19・28「残り湯を沸かし直しをするには」の項以下の操作を行ってください。

- 選んだときに停電になると、ふるアダプターから水が流ればなしになりますので、給水元栓を閉めてください。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P.39参照）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一起色した場合はクレンジャーやアンモニア水（10％程度）等で拭き取ってください。

- オーバーフロー配管の先からスムーズに排出されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。



通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく短めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるとお近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、シゴ、脚立を使わずに作業はメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 扉などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するためです。

塩ど管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ど管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ど管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。（ただし、オーバーフロー配管は除きます）

地下水や温泉、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。地下水や温泉・井戸水とは接続しないでください。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫酸・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確かめ機器への悪影響が白濁のものをご使用ください。
- ふる用洗剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音が発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音が発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。

- 葉草やゆず入り入浴剤の場合は、葉草などがフィルターや機器内部につまる場合がありますので、ご使用を避けてください。



禁止

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示を確認してください。

長期使用しないとき

- この取扱説明書P.36の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



排気ガス

- 増設時または燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）の周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。（寒い日は排気ガスが白い煙のように見えることがあります）

給排気について

- 機器（屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ）は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口（屋内設置形は給排気筒トップ）をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

塩害

- 海岸近くに設置するとき、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

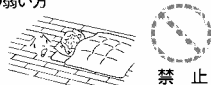
お使いいただく前に

必ずお守りください

警告 床暖房についての注意

やけどに注意

- 高い温度で設定したまま長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児や自分の意志で体を動かさない方
 - ・疲労の激しいとき
 - ・お酒や睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



床についての注意

- 床暖房を設置している床面に、突起物（釘・画びょう・きり・タニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。



注意

床についての注意

床に水などがこぼれたらすみやかに拭きとる

- 床面に水・薬品・しょう油などをこぼしたままにしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。



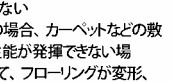
床へは衝撃を加えない

- 床が破損し、水漏れのおそれがあります。



床仕上材の上に敷物を敷かない

- 木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色することがあります。



用途についての注意

- 床暖房を他の目的に使用しない。特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）には使わないでください。



床下防霉処理について

- 床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

家具などを直接床に置かない

- 床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にはバットなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



ホットカーペットとの併用はしない

- 床仕上材が変形、変色するおそれがあります。



カーペットの張替えについて

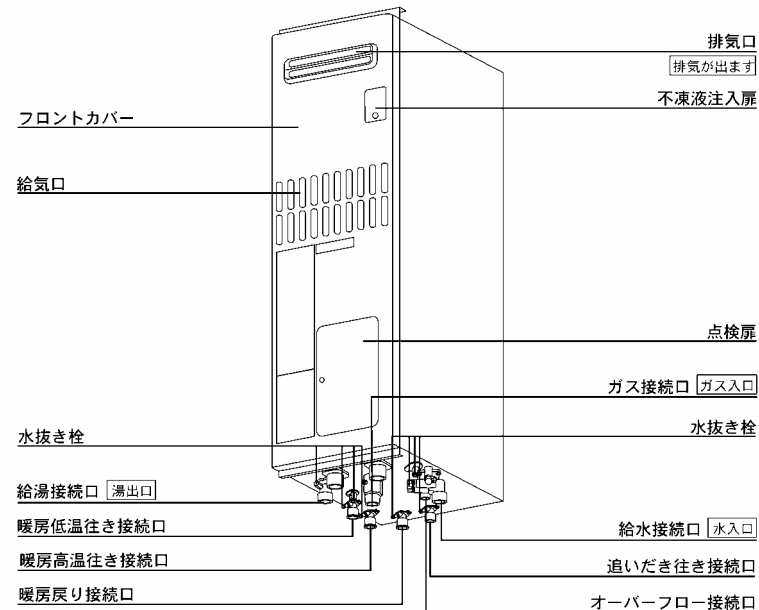
- 張替える場合には、床暖房を破損しないように、グリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはびょうで固定するのは避けてください。また、交換を考慮して、全面接着することは避けてください。



床暖房以外の放熱器についての注意は、放熱器の取扱説明書にあります。放熱器の取扱説明書をよくお読みください。

各部の名称と取り付け

機器本体 (図は135-T710型を示します)



浴室リモコン
別売品

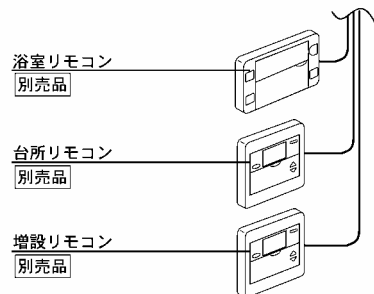
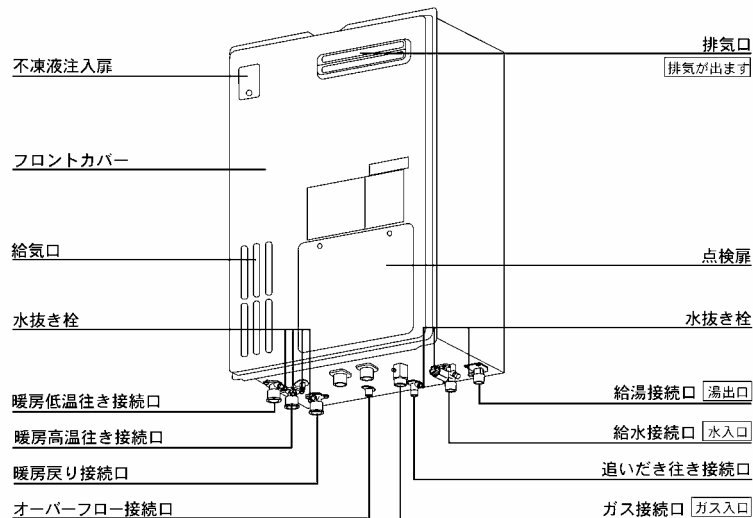
台所リモコン
別売品

増設リモコン
別売品

お使いいただく前に

各部の名称と取り付け

■機器本体 (図は135-T720型を示します)



■浴室リモコン (浴室に取付けます)

138-T310型/T311型/T312型 (別売品：台所リモコンセット品)

138-T313型 (別売品：浴室リモコン単品 呼び出しスイッチなしタイプ)

給湯やお風呂沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。セット品の台所リモコンや別売の増設リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作(一部の操作)することもできます。通常はふたを閉じておいてください。※138-T313型は浴室リモコン単品のみでのご利用となります。

ふろ自動スイッチ

設定した温度・水位で自動的にお風呂を沸かします。
(→P. 17・27参照)

ふろ自動ランプ

ふろ自動運転中、沸き上げ中は赤、保温中(デラックスタイプ)は緑で点灯します。

追いだしランプ

追いだし中に緑で点灯します。

追いだしスイッチ

お風呂がめぐるくて熱くしたときに押します。(→P. 23・29参照)

運転スイッチ

操作するとき最初に「入」にします。
(→P. 13参照)

スピーカー

設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

呼び出しランプ

呼び出し中に緑で点滅します。

呼び出しスイッチ

浴室外にある台所リモコン等に呼び出しチャイムと呼び出し音声ガイドが流れます。

※138-T313型には、呼び出しスイッチおよび機能がありません

浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ぬるくボタン

熱いお風呂をぬるくするときに押します。
(→P. 25参照)

たし湯ボタン

お風呂のお湯を増やしたいときに押します。
(→P. 26参照)

上・下ボタン

ふろ温度・保温時間(デラックスタイプ)・ふろ水位・現在時刻・音量・予約時刻の調節をするときに押します。

設定ボタン

ふろ水位・現在時刻・音量の設定を切替えるときに押します。
また、ボタンを長押しすると省電力モードの設定・解除が行えます。(→P. 14参照)

優先ボタン

給湯温度調節の優先を、台所リモコンまたは浴室リモコンに切替えるときに押します。
(→P. 16参照)
※138-T313型には、優先ボタンおよび機能がありません

給湯温度ボタン

給湯温度の調節をするときに押します。

ふろ予約ボタン

お風呂沸かしの予約をしたいときに押します。
(→P. 31参照)



給湯燃焼表示・ふろ/暖房燃焼表示は左右に動いて、燃焼していることをお知らせします。

給湯燃焼表示・ふろ/暖房燃焼表示の補足説明



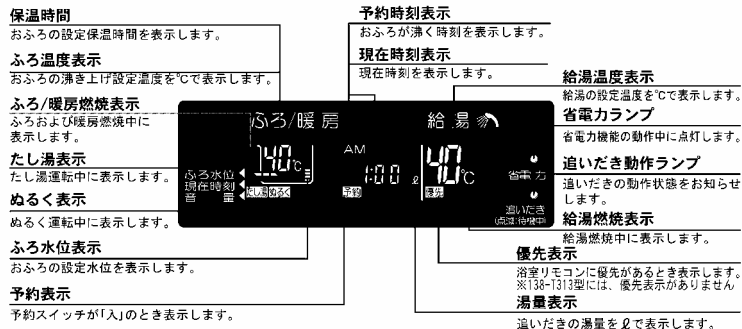
燃焼中は左右に動きます。

お使いいただく前に

各部の名称と使い方

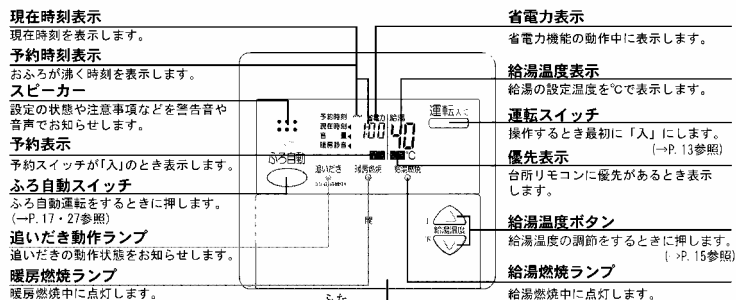
■浴室リモコンの画面表示

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確認することが出来ます。
※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

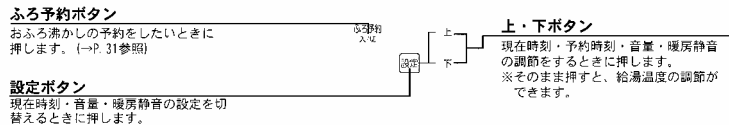


■台所リモコン 138-T310型 (別売品：暖房スイッチなしタイプ)

台所に設置して使用します。
給湯温度の設定やおふろの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

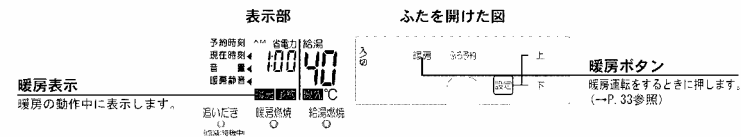


台所リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。



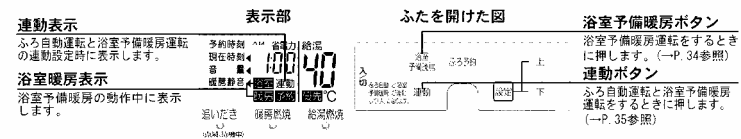
■台所リモコン 138-T311型 (別売品：暖房スイッチありタイプ)

暖房スイッチ付台所リモコンです。
給湯温度の設定や、ふろ沸かしの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、暖房運転の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※説明は台所リモコン138-T310型との違いのみ説明します。



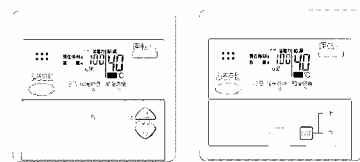
■台所リモコン 138-T312型 (別売品：浴室予備暖房スイッチありタイプ)

浴室予備暖房スイッチ付台所リモコンです。
給湯温度の設定やおふろの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、浴室暖房乾燥機の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※説明は台所リモコン138-T310型との違いのみ説明します。



■増設リモコン 138-3136型 (別売品)

浴室や台所以外の部屋から、運転スイッチの「入」/「切」、給湯温度調節、ふろ自動運転が操作できます。
各部のはたらきや使い方は台所リモコンと同じですが、ふろ予約運転や暖房静音運転は操作できません。



ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

■機器の準備

- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行います。
- 2 給水元栓を全開にします。
機器の下部にあります。
- 3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。
- 4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。

お使いいただく前に はじめて使ってみましょう

ご利用前の準備

準備ができたから、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

- リモコンを「入」にする ※電源投入後、リモコンが表示するまで多少時間がかかります。

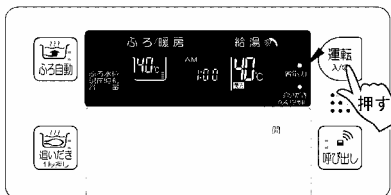
※電源投入直後は、イラストの表示とは異なります。

(リモコンの図は138-T310型で説明します)

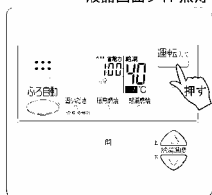
1 浴室リモコンまたは台所リモコンの運転スイッチを押します。

リモコンの画面に図のような画面が表示されます。
運転スイッチを押したりリモコンには、優先表示が表示されます。
ふろ、給湯を使わないときは、運転スイッチをもう一度押します。
リモコンが「切」の状態になり、画面表示が消えます。

浴室リモコン 画面表示・優先表示
省電力ランプ点灯



台所リモコン 画面表示・優先表示
省電力表示
液晶画面ライト点灯



■現在時刻を合わせる

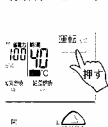
※現在時刻合わせは、いずれかひとつのリモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します

(浴室リモコン)



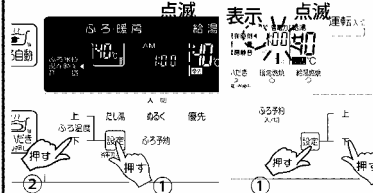
(台所リモコン)



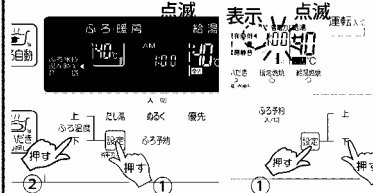
「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けます 設定ボタンを押して現在時刻を設定します

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



△ ボタンは時刻が進みます
▽ ボタンは時刻が戻ります
※ ボタンを押し続けると
連続的に数字が変わります

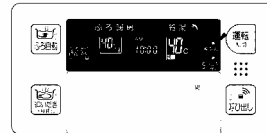
- ① 設定ボタンを押して、△を現在時刻の右側に表示させ、現在時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“現在時刻です 上下ボタンで入力してください”
- ② △または▽ ボタンを現在時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押し続けてください。
△・▽ ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
音声ガイドが流れます。
“現在時刻、セットされました”



- 出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。
- AM (午前)・PM (午後) に注意してください。
- 設定時に△ または▽ ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 初回の時刻合わせは、設定ボタンを1回押せば時刻合わせが出来ます。その後時刻を直し場合は、浴室リモコンは設定ボタンを2回台所リモコンは1回押してください。

省電力機能について

浴室リモコンと台所リモコンの画面表示を、何も操作しないときは表示しないようにするのが「省電力モード」です。このモードを使うことで電気の節約になります。浴室リモコンで操作します。



※ 出荷時の省電力モードは「入」になっています。

運転スイッチ「入」と省電力ランプの点灯を確認します



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

省電力モードの解除

省電力モード中の場合は、リモコンの画面を通常表示させます。(表示の方法は下記参照)

浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを5秒以上押し続けます。
音声ガイドが流れます。
“省電力、解除されました”

(浴室リモコン) 省電力ランプが消灯します
(台所リモコン・増設リモコン) 省電力表示が消えます



※ 運転スイッチの「入」/「切」では省電力モードは解除されません。

省電力モード中に画面を表示させるには
給湯栓を開ける、もしくは、各スイッチおよびボタンを押すと画面が表示されます。

① ご注意ください



左記のスイッチを押すと、画面が表示されると同時に運転が開始します。

省電力モードの設定



浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを5秒以上押し続けます。
音声ガイドが流れます。
“省電力、セットされました”

(浴室リモコン) 省電力ランプが点灯します
(台所リモコン・増設リモコン) 省電力表示されます



その後、5分以上何もスイッチおよびボタン操作がない場合

浴室リモコン→省電力ランプ以外のすべての画面表示が消えます。

台所リモコン
増設リモコン→液晶表示画面のライトが消えます。

- ※ 下記の場合、省電力モードでも画面表示します。
- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ・ふろ自動運転中および保温中(最長8時間)

お願い

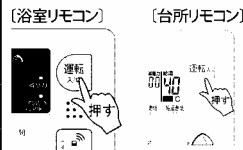
- 省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)ときに給湯・シャワーを使うときは、一度画面表示をさせて給湯温度を確認してからご使用ください。
- ふろ自動・追いだき・呼び出しスイッチおよび台所リモコンの暖房ボタンまたは浴室予備暖房ボタンは画面が消えている状態でも動作を受け付けます。これ以外の動作をするときは、上記の方法で一度画面を表示させてから行ってください。
- 省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)ときに給湯の優先が浴室リモコンにあって台所リモコンに優先を移す場合は、次の手順で行ってください。
 - ① 台所リモコンの運転スイッチを押して液晶表示画面のライトを点灯させ、もう一度運転スイッチを押して運転「切」にします。
 - ② 再度、運転スイッチを押して運転「入」にします。台所リモコンが優先となります。
- 省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)ときに暖房を使用した場合は、暖房燃焼表示(台所リモコンでは暖房燃焼ランプ)が表示されます。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まり、再通電したあとでは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。



正しい使い方を確認してください

お湯を使うには

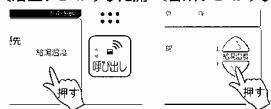
1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 給湯温度を調節します

〔浴室リモコン〕ふた開 〔台所リモコン〕ふた開



給湯温度を調節するリモコンに優先が表示されていることを確認します。浴室リモコンはふたを開けます。給湯温度△または▽ボタンを押してお好みの温度に設定します。

- △ボタンは給湯温度が1段階ごと上がります。
- ▽ボタンは給湯温度が1段階ごと下がります。


給湯温度は以下の14段階で設定できます。

ご使用の目安		(単位:°C)														
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60			
お風呂など	シャワー	給湯など											給湯など	高温		

※工場出荷時


3 給湯栓を開けます



浴室リモコンでは給湯燃焼表示が表示します。台所リモコンでは給湯燃焼ランプが点灯します。

4 給湯栓を閉じます



浴室リモコンでは給湯燃焼表示が消えます。台所リモコンでは給湯燃焼ランプが消灯します。ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

お湯を使うときの注意

- 警告** ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこなうとヤケンのおそれがあります。
- シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が変動し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

ご注意ください

- 給湯栓を閉しても機器の燃焼用ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30°C近くになる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なく給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を増やすか、水と混合してお使いください。
- ふろ自動運転のお湯張り中のシャワーはふろ設定温度で湯出されます。お湯張りが終了したあとは給湯の設定温度に戻ります。



おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。給湯は、浴室リモコン、台所リモコン、また増設リモコンのいずれからでも操作できます。

給湯温度を調節するときの注意

❗ご注意ください

- 50°C、55°C、60°Cに給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが「熱い温度にセットされました 注意してください」とお知らせします。

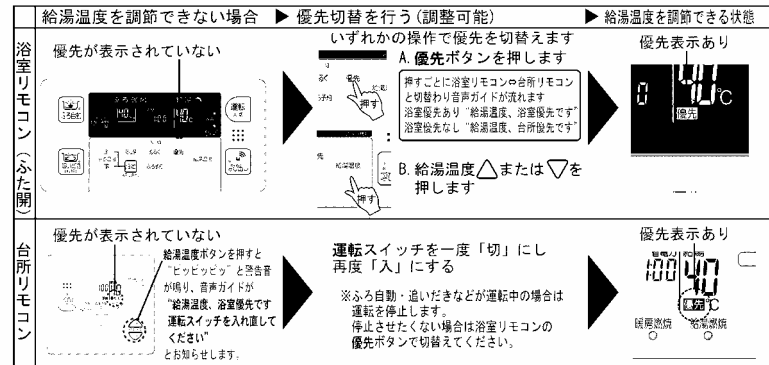
お願い

- ふろ自動運転のお湯張り中(追いだし中)・たし湯・ぬるく運転中は、台所リモコンの給湯温度△または▽ボタンや、浴室リモコンの給湯温度△または▽ボタンを押すと「ビッピッピ」と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
- 55°C以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60°Cには設定変更ができません。設定したいときは、一旦使用を止めてから行ってください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60°Cに設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55°Cにセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40°Cになります。再度セットし直してください。

優先切替について

給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

※浴室リモコン(138-T313型)には、優先ボタンおよび機能がありません。



- 給湯優先切替時には、55°Cより高い設定温度にはなりません。優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°Cだった場合は、自動的に55°Cにセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替時に、設定温度が50°C以上の場合「熱い温度にセットされました 注意してください」とお知らせします。
- 別売の増設リモコン(138-3136型)を設置している場合。
 - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先となります。
 - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

デラックスタイプふろアダプター使用時 自動でおふろを沸かすには

はじめにお使いのときはふろ温度：40℃、ふろ水位：180ℓ（水位バー4）の設定です。ふろの温度や水位を変更したいときはP. 20～P. 21をご覧ください。

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



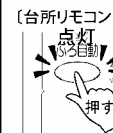
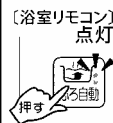
準備 浴槽の排水栓をして
ふたをします

1 運転スイッチを
「入」にします

〔浴室リモコン〕 〔台所リモコン〕



2 ふろ自動スイッチを押します



〔浴室リモコン〕点灯
浴室リモコンではふろ自動ランプが赤で点灯し
が以下の表示を繰り返します。

〔台所リモコン〕点灯
台所リモコンではふろ自動スイッチが赤で
点灯します。

音声ガイドが流れます。
“お湯張りを始めます おふろの栓はし
ましたか”

保温時間の変更を行いたい場合は、以下の方法でふろ自動運転の操作をしてください。

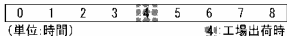
2 ふろ自動スイッチを2秒以上押し続けます

〔浴室リモコン〕点灯



ふろ自動ランプが赤で点灯します。
保温時間表示が点滅します。音声ガイドが流れます。
“保温時間を変更する場合は、上下ボタンで入力して
設定ボタンを押してください”

△・▽ ボタンを保温時間表示が点滅している間に押します。



※保温しない場合は、「0」に設定してください。

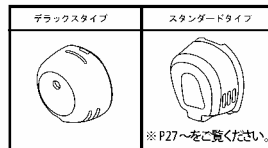
△・▽ ボタンで入力後、設定ボタンを押す、もしくははしばらく
たつとふろ自動運転が開始となります。

●ご注意ください

高温水を差し湯して保温しますので、保温時間を長くすると、
浴槽からお湯があふれる場合があります。

おふろに水を入れて沸かし、めるくなったらまた沸かす。という浴室を行ったり来たりする面倒な作業はもうい
りません。「ふろ自動運転」により、スイッチを押すだけで簡単におふろが沸かせます。

浴槽のふろアダプターは2種類あります。

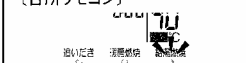


2-1 お湯張りを開始します。

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



設定水位に近くなると、各リモコンから
チャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。
“もうすぐおふろに入れます”

2-2 お湯張りが終わると沸かし上げます。

沸き上がると、各リモコンからチャイ
ムが鳴り、音声ガイドが流れます。
“おふろが沸きました”
(給湯温度が50℃以上に設定されている場
合は浴室リモコンのみ音声ガイドが
“熱い温度にセットされました 注意
してください”と流れます)

※設定されたふろ温度に達しない場合は、
追いだし(高温水の差し湯)を行います。

〔浴室リモコン〕 追いだし中点灯・表示



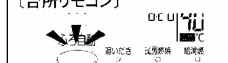
〔台所リモコン〕 追いだし中点灯

2-3 保温に入ります。

〔浴室リモコン〕



ふろ自動ランプが緑で点灯
〔台所リモコン〕



ふろ自動スイッチが緑で点灯
おふろの温度が下がると、高温
水で沸かして保温します。
保温時間が終了すると浴室リモ
コンのふろ自動スイッチが消灯
します。

おふろ沸かしを途中で停止したいときは

もう一度、ふろ自動スイッチを押します。 ふろ自動ランプが消灯して、おふろ沸かしが停止します。

▲警告 ●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然ふろアダプターより熱いお湯が出たり、ふろアダプターの周
囲が熱くなっていることがあるので注意する。やけどのおそれがあります。

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯がけんを手で確かめる。確認をおこなうとやけどのおそれがあります。

●ご注意ください

●ふろ水位を50ℓに設定した場合は、保温に入りません。

●予約運転でふろ自動運転を行った場合は“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。

●自動でおふろを沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、ふろアダプターからの湯が止
まります。残り湯を沸かし直しをするには(→P. 19 参照)をご覧ください。

●保温中に浴槽のお湯を排水しないでください。高温のお湯がふろアダプターから出ることがあるの
で、排水する場合は必ず保温(ふろ自動スイッチ)を切ってください。

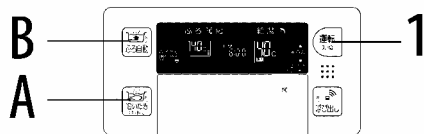
●ふろ自動運転のお湯張り中に、ふろアダプターからお湯が出たり止まったりすると共に浴室リモコンの
給湯燃焼表示(台所リモコンは給湯燃焼ランプ)がついたり消えたりすることは異常ではありません。

●ふろ自動運転のお湯張り中に、台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ設定温度でお湯が出ます。
●ふろ自動運転の沸かし上げ中に、台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ自動運転が一時的に中断し
ます。その際、追いだし動作ランプが点滅してお知らせします。お湯の使用後は、ふろ自動運転を再開します。

●保温中は湯温の低下を見て、自動で追いだしを行います。

デラックスタイプふろアダプター使用時 残り湯を沸かし直すには

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

A 水位がふろアダプターより5cm以上高い場合 追いだきスイッチを1秒以上押し続けます

操作の方法は追いだき運転 (P. 23～参照) と同じです。
追いだきランプ (橙) が点灯します。
音声ガイドが流れます。
“お風呂を沸かします。熱い温度に注意してください”
高温水を差し湯してふろ設定温度まで沸かし直します。



❗ ご注意ください
残り湯の水位が高い場合は、設定温度に達する前に、浴槽からお湯があふれる場合があります。
残り湯の温度と設定温度の差が大きい場合、一回の操作で設定温度に達しない場合があります。
その場合は再度追いだき運転を行ってください。

B 水位がふろアダプターより上5cmに満たない場合 残り湯を排水し、ふろ自動運転を行います



ふろ自動スイッチを押します。
ふろ自動ランプ (赤) が点灯します。
運転を開始します。
(運転内容はP. 17～参照)

沸かし直しを途中で停止させるには

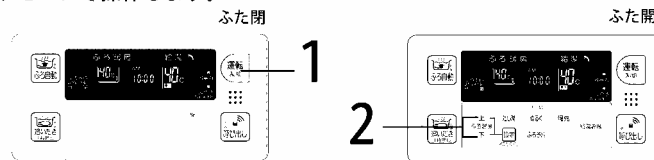
もう一度、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプとふろ / 暖房燃焼表示 (▲) と (■) が点滅し、追いだき動作ランプが消灯して、運転が停止します。

警告 ●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認をおこなるとややけのおそれがあります。

XE ●追いだきはすぐに始まりません。これは残り湯の有無を機器が確認するためで異常ではありません。
●残り湯の水位がふろアダプターより低い場合は、沸かし直しを始めません。必ずふろアダプターより水位が5cm以上高いことを確認してください。
●沸かし直しの運転中に、給湯・シャワーを使用すると運転が一時的に中断します。その際、追いだき動作ランプが点滅してお知らせします。給湯・シャワーの使用後は、沸かし直しの運転を再開します。

ふろ温度をセトするには

浴室リモコンで操作します。

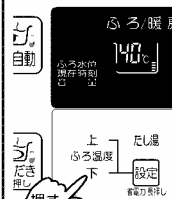


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、ふろ温度を設定します



ふろ温度 (▲・▽) ボタンを押して
お好みの温度に設定します。

▲ ボタンは温度が上がります。
▽ ボタンは温度が下がります。

ふろ温度は以下の12段階で設定できます。

ご使用の目安 (単位: °C)											
37	38	39	41	42	43	44	45	46	47	48	
ぬるい			標準							あつい	

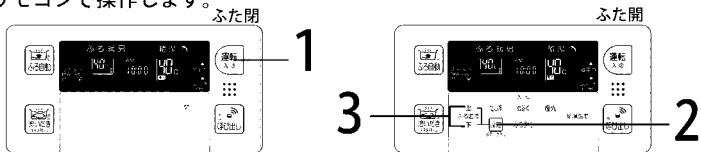
■:工場出荷時

お願い ●浴槽の種類や施工条件によって、実際のふろ温度と表示されるふろ温度が、多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。

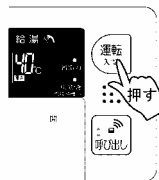
XE ●設定は記憶されるので、次回からはセットする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって30分以上通電がない場合は、再セットが必要です。
●保温中でもふろ温度の設定を変更することができます。

ふろ水位をセッするには

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



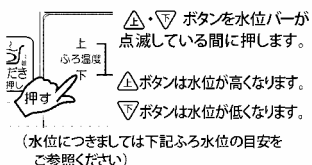
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、◀をふろ水位の右側に表示させ、水位バーが点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。「ふろ水位です 上下ボタンで入力してください」

3 ふろ水位を設定します



▲・▼ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。音声ガイドが流れます。「ふろ水位、セットされました」

ふろ水位の目安 □:工場出荷時

お湯の量	浴槽のタイプ別 湯量(目安)
500ℓ	
400ℓ	1600タイプ
300ℓ	
260ℓ	1400タイプ
240ℓ	
220ℓ	
200ℓ	1200タイプ
180ℓ	1100タイプ
160ℓ	800・900タイプ
140ℓ	湯船バス
50ℓ	

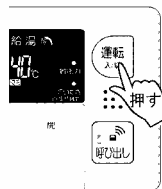
※ふろ水位とは、浴槽に入れるお湯の量のことです。

- お願い**
- 浴槽の種類や施工条件によって、実際の水位と表示される水位が、多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高めにセッするとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをお勧めします。
 - 設定は記憶されるので、次回からはセッする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって30分以上通電がない場合は、再セッが必要です。
 - 設定時に▲または▼ボタンを押さないと約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
 - 水位の設定中はふろ自動スイッチを受け付けません。水位の確定後に押してください。

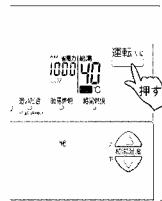
チャイムや音声ガイドの音量を調節する

1 運転スイッチ「入」を確認します

(浴室リモコン)



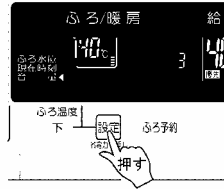
(台所リモコン)



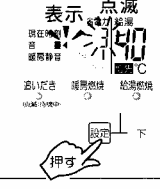
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、設定ボタンを押します

(浴室リモコン)



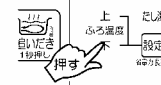
(台所リモコン)



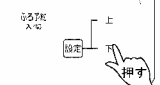
設定ボタンを押し、◀を音量の右側に表示させ、音量表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。「音量です 上下ボタンで入力してください」

3 音量を設定します

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



- ▲・▼ボタンを音量表示が点滅している間に押します。
- ▶ボタンは音量が大きくなります。
- ◀ボタンは音量が小さくなります。

0(無音) 1(小) 2(中) 3(大)

□:工場出荷時

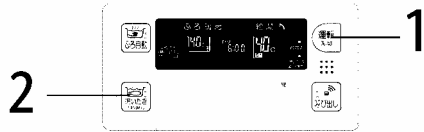
▲・▼ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。音声ガイドが流れます。「音量、セッされました」

- メモ**
- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
 - 音量は浴室リモコン・台所リモコンで別々に設定ができます。
 - 設定時に▲または▼ボタンを押さないと約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
 - 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときの呼び出し音は、音量「小」で台所リモコン(増設リモコン)より流れます。
 - スイッチやボタン操作時の音、警告音「ビッビッ」の音は調節できません。
 - 設定ボタンを順に押して「ふろ水位」「音量」を続けてセッすることもできます。セッすると音声ガイドが「ふろ水位、現在時刻、音量セッされました」と設定した項目についてお知らせします。
 - 上記のように続けてセッする場合、設定ボタンは以下のように操作します。

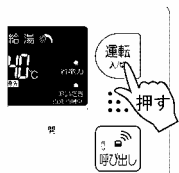
設定ボタン → 1回押す → 2回目 → 3回目 → ふろ水位 現在時刻 音量

デラックスタイプふろアダプター使用時 お風呂のお湯を熱くするには (追いだき)

浴槽のお湯がめぐるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



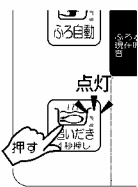
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

水位がふろアダプターより5cm以上、上にあることを、確認します。

もっと熱くしたいときには

もう一度、追いだきスイッチを押します。

2 追いだきスイッチを1秒以上押し続けます



追いだきランプ(橙)が点灯します。

追いだき運転を途中で停止させるには

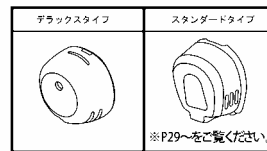
もう一度、追いだきスイッチを押します。追いだきランプとふろ/暖房燃烧表示と、追いだき動作ランプが点灯して、追いだき運転が停止します。

警告 ● 追いだきの操作をするときは、浴槽のふろアダプターより高温水が出るため、入浴中はふろアダプターに近づかない。やけどのおそれがあります。

注意 ● 追いだきの操作をするときは、浴槽のふろアダプターより上に湯(水)が5cm以上あることを確認する。

お願い ● 追いだき運転中に、給湯・シャワーを使用すると運転が一時的に中断します。その際、追いだき動作ランプが点滅してお知らせします。給湯・シャワーの使用後は、追いだき運転を再開します。

浴槽のふろアダプターは2種類あります。



2-1 追いだき(高温差し湯)を開始します。



■ が点灯します。 ■ は以下の表示を繰り返します。
 → ■ → ■ → ■ → ■ → ■ → ■ → ■ → ■ → ■ → ■ → ■
 追いだき動作ランプが点灯します。
 音声ガイドが流れます。
 “お風呂を沸かします 熱い温度に注意してください”
 しばらくして、ふろ/暖房燃烧表示と が表示され、追いだき運転を開始します。



現在温度+2°Cで沸き上げて自動的に停止します。
 ただし、沸き上げた温度(現在温度+2°C)が設定温度に達しない場合は設定ふろ温度まで沸き上げて自動的に停止します。
 ※設定温度と現在温度の差が大きい場合、一回の操作で設定温度に達しない場合があります。
 その場合は再度追いだき運転を行ってください。

運転が終了すると追いだきランプが消え、ふろ/暖房燃烧表示と、追いだき動作ランプも消えます。

注意 ● 高温水を差し湯して沸かし上げますので、浴槽からお湯があふれる場合があります。

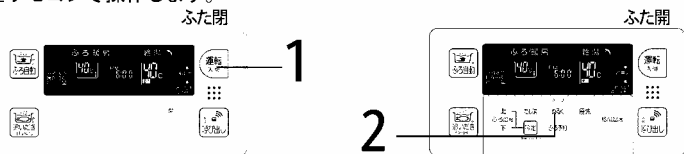


● ふろ自動運転のお湯張り中(追いだき中)は、追いだきスイッチを使用できません。押すと“ビップビップ”と警告音が鳴ります。

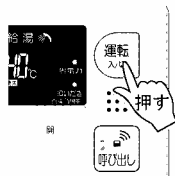
お風呂のお湯をぬくするには

浴槽のお湯が熱くてぬくしたい場合は、「ぬるく運転」が便利です。この機能では、自動的に水(約12ℓ)を入れます。

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けぬるくボタンを押します



ぬるくが表示されます。

しばらくして、 が表示され、ぬるく運転を開始します。約12ℓの水を入れて、自動停止します。

は以下の表示を繰り返します。

→ → → 消灯 →

運転が終了するとぬるく表示が消え、 も消えます。

もっとぬるくしたいときには

もう一度、ぬるくボタンを押します。

ぬるく運転を途中で停止させるには

もう一度、ぬるくボタンを押します。
ぬるく表示と が消灯して、ぬるく運転が停止します。

❗ ご注意ください

●ぬるく運転中に給湯栓(シャワーを含む)を開けると水が出てきます。このとき給湯燃焼はしません。

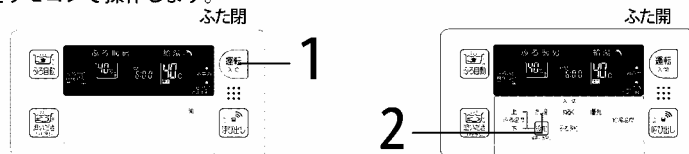
●ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。

●ふろ自動運転のお湯張り中(追いだき中)はぬるくボタンを使用できません。ボタンを押すと「ビッピッピ」と警告音が鳴ります。給湯燃焼表示またはふろ燃焼表示が消えてからぬるくボタンを押してください。お湯の使用中也ぬるくボタンを使用できません。

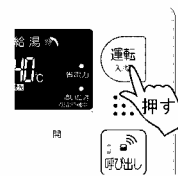
お風呂のお湯を増やしたいときには

浴槽のお湯の量を増やしたいときは、「たし湯運転」があります。この機能では、自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れます。

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けたし湯ボタンを押します



たし湯が表示されます。 が点灯します。

しばらくして給湯燃焼表示が表示され、たし湯運転を開始します。約24ℓの湯を入れて、自動停止します。

は以下の表示を繰り返します。

→ → → 消灯 →

運転が終了するとたし湯表示が消え、給湯燃焼表示とも消えます。

もっとたし湯をしたいときには

もう一度、たし湯ボタンを押します。

たし湯運転を途中で停止させるには

もう一度、たし湯ボタンを押します。
たし湯表示と給湯燃焼表示、が消灯して、たし湯運転が停止します。

❗ ご注意ください

●たし湯運転中は、給湯栓から出るお湯の温度がふろ設定温度になります。このとき、給湯温度の表示は変わりません。

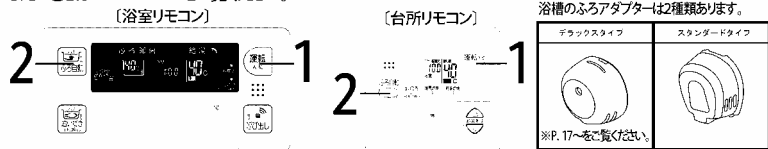
●たし湯運転中に給湯栓を開けたときや給湯使用中にたし湯を開始すると、給湯栓から出るお湯の温度はふろ温度になります。給湯設定温度に戻すには、給湯を一旦停止してたし湯終了後再度給湯栓を開けてください。給湯温度が50℃以上の場合はチャイムが鳴り、音声ガイドが「熱い温度にセットされました 注意してください」とお知らせします。

●ふろ自動運転のお湯張り中(追いだき中)は、たし湯ボタンを使用できません。ボタンを押すと「ビッピッピ」と警告音が鳴ります。

●お願い ●たし湯ボタンは長く(5秒以上)押し続けてください。入浴中にたし湯ボタンを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。(→P.36参照)浴室リモコンに「032」が点滅し運転を停止します。誤って押し続けた場合は運転スイッチを「切」にして、3秒以上経過してから再度「入」にしてください。

スタンダードタイプふろアダプター使用時 自動でお風呂を沸かすには

はじめにお使いのときはふろ温度：40℃、ふろ水位：180ℓ（水位バー4）の設定です。ふろの温度や水位を変更したいときはP. 20～P. 21をご覧ください。

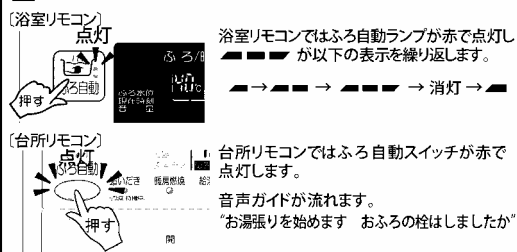


準備 浴槽の排水栓をして
ふたをします

1 運転スイッチを
「入」にします



2 ふろ自動スイッチを押します



2-1 お湯張りを開始します。

(浴室リモコン)



設定水位に近くなると、各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。
“もうすぐお風呂に入れます”

設定された水位に達すると、各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。
“お風呂が沸きました”

※給湯温度が50℃以上に設定されている場合は浴室リモコンのみ音声ガイドが
“熱い温度にセットされました 注意してください”と流れます。

お風呂沸かしを途中で停止したいときは

もう一度、ふろ自動スイッチを押します。
自動ランプが消灯して、お風呂沸かしが停止します。

警告 ●お風呂の沸かし上げ中は、突然ふろアダプターより熱いお湯が出たり、ふろアダプターの周囲が熱くなっていることがあるので注意です。やけどのおそれがあります。

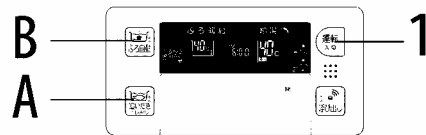
●入浴の際は念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

ご注意ください

- 予約運転でふろ自動運転を行った場合は“もうすぐお風呂に入れます”の音声ガイドが流れません。
- 自動でお風呂を沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、ふろアダプターからの湯が止まります。沸かし直しするには(→P. 28 参照)をご覧ください。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、ふろアダプターからお湯が出たり止まったりすると共に浴室リモコンの給湯燃焼表示(台所リモコンは給湯燃焼ランプ)がつかんだり消えたりすることは異常ではありません。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ設定温度でお湯が出ます。
- ふろ自動運転の沸かし上げ中に、台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ自動運転が一時的に中断します。その際、追いだき動作ランプが点滅してお知らせします。お湯の使用後は、ふろ自動運転を再開します。

スタンダードタイプふろアダプター使用時 残り湯を沸かし直すには

浴室リモコンで操作します。

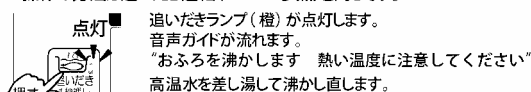


1 運転スイッチ「入」
を確認します



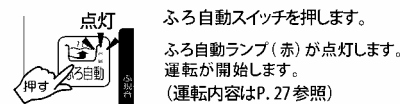
A 水位がふろアダプターより5cm以上高い場合
追いだきスイッチを1秒以上押し続けます

操作の方法は追いだき運転(→P. 29 参照)と同じです。



●ご注意ください
沸かしすぎにご注意下さい。やけどのおそれがあります。設定湯量の高温水を差し湯して沸かし上げますので、適温で自動的に停止しません。湯温が適温になったら、追いだきスイッチを押して、運転を停止してください。また、冬場など残り湯の温度が極端に低い場合は、差し湯注湯量の設定を最大にしても、適温にならない場合があります。その場合はもう一度、追いだきスイッチを押してください。(お湯のあふれには、ご注意ください)

B 水位がふろアダプターより上5cmに満たない場合
残り湯を排水し、ふろ自動運転を行います



沸かし直しを途中で停止させるには

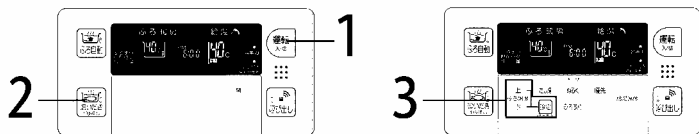
もう一度、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプとふろ 暖房燃焼表示(と)、追いだき動作ランプが消灯して、運転が停止します。

警告 ●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

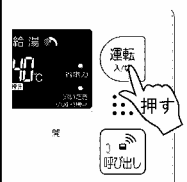
- 残り湯の水位が浴槽のふろアダプターより低い場合に沸かし直しをすると、安全装置が作動し、停止します。この場合は、水位をふろアダプターより5cm以上高くしてから行ってください。
- 沸かし直しの運転中に、給湯・シャワーを使用すると運転が一時的に中断します。その際、追いだき動作ランプが点滅してお知らせします。給湯・シャワーの使用後は、沸かし直しの運転を再開します。

スタンダードタイプふろアダプター使用時 お風呂のお湯を熱くするには (追いだき)

浴槽のお湯がめぐるようになったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

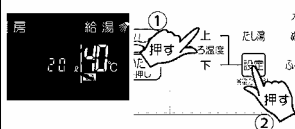
水位がふろアダプターより5cm以上、上にあることを、確認します。

2 追いだきスイッチを1秒以上押し続けます



追いだきランプ（橙）が点灯し、差し湯注湯量表示が点滅します。音声ガイドが流れます。“お風呂を沸かします” “お風呂を沸かします” “上下ボタンで入力して設定ボタンを押してください”

3 差し湯注湯量を設定します



① ▲・▼ ボタンを差し湯注湯量が点滅している間に押します。

差し湯注湯量
工場出荷時

② 差し湯注湯量の選択後、設定ボタンを押すか、スイッチやボタンを押さないまま、しばらくつと運転を開始します。

もっと熱くしたいときには

もう一度、追いだきスイッチを押します。

追いだき運転を途中で停止させるには

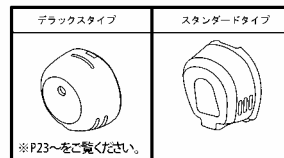
もう一度、追いだきスイッチを押します。追いだきランプとふろ/暖房燃焼表示と、追いだき動作ランプが消灯して、追いだき運転が停止します。

警告 ●追いだきの操作をするときは、浴槽のふろアダプターより高温水が出るため、入浴中はふろアダプターに近づかない。やけどのおそれがあります。

注意 ●追いだきの操作をするときは、浴槽のふろアダプターより上に湯（水）が5cm以上あることを確認する。
●設定湯量を差し湯して沸かし上げますので、適温で自動的に停止しません。沸かしすぎにご注意ください。

お願い ●追いだき運転中に、給湯・シャワーを使用すると運転が一時的に中断します。その際、追いだき動作ランプが点滅してお知らせします。給湯・シャワーの使用後は、追いだき運転を再開します。

浴槽のふろアダプターは2種類あります。



3-1 追いだき（高温差し湯）を開始します。



■ が点灯します。
■ は以下の表示を繰り返します。
→ → → → → 消灯 →

追いだき動作ランプが点灯します。音声ガイドが流れます。“お風呂を沸かします” “熱い温度に注意してください” “しばらくして、ふろ/暖房燃焼表示が表示され、追いだき運転を開始します。



設定した差し湯注湯量に達すると運転を停止します。

運転が終了すると追いだきランプが消え、ふろ/暖房燃焼表示と、追いだき動作ランプも消えます。

注意 ●お好みの温度で停止しないので、沸かしすぎにご注意ください。湯温が適温になりましたら、もう一度、追いだきスイッチを押して運転を停止してください。



●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）は、追いだきスイッチを使用できません。押すと“ピッピッ”と警告音が鳴ります。
●設定した差し湯量は記憶されません。次の追いだき時には初期設定の20Lに戻ります。

お風呂が沸く時刻を予約するには

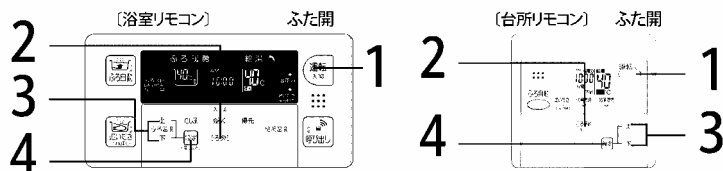
お風呂の沸き上がり時刻を予約することができます。
予約の設定は予約時刻の60分以上前に設定してください。

予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓が閉じており、お風呂のふたがしてあることを確認。
- 現在時刻が合っているかを確認。(P.13参照)
- 予約時刻を確認。(P.31参照)
- ふろ温度・ふろ水位の設定を確認。(P.20~21参照)

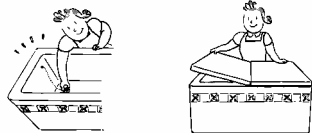


■予約運転を開始する お風呂の沸き上げ完了する時刻をセットし、予約を開始します。

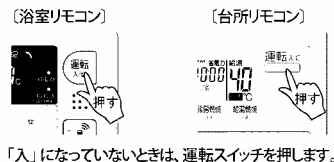


準備 浴槽の排水栓をしてふたをします

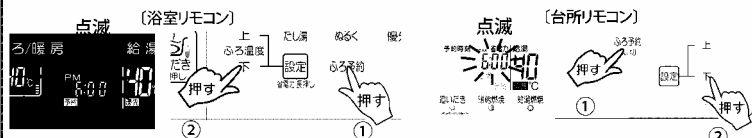
- ①浴槽の排水栓をします。 ②浴槽のふたをします。



1 運転スイッチ「入」を確認します



2 リモコンのふたを開けふろ予約ボタンを押し、予約時刻を設定します

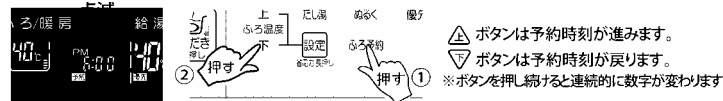


- ① ふろ予約ボタンを押します。
予約時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”
- ② △または▽ボタンを予約時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。
△ボタンは予約時刻が進みます。
▽ボタンは予約時刻が戻ります。
※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります

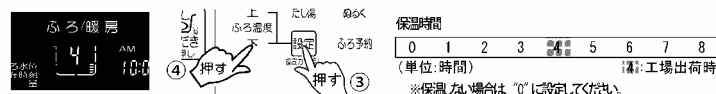
次ページ3へすすむ

トラックタイプのふろアダプターをご利用の場合で
保温時間の変更を行いたい場合は、以下の方法で予約操作をしてください。

2' 浴室リモコンのふたを開けふろ予約ボタンを2秒以上押し続けます



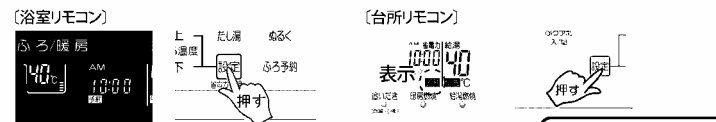
- ① ふろ予約ボタンを押し、予約時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”
- ② △または▽ボタンを予約時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。



- ③ 設定ボタンを押すと、保温時間表示が点滅します。音声ガイドが流れます。
“保温時間を変更する場合は、上下ボタンで入力して設定ボタンを押してください”
- ④ △または▽ボタンを保温時刻が点滅している間(約10秒間)に押してください。

ページ下3へすすむ

3 設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります



音声ガイドが流れます。
“予約されました お風呂の栓はしましたか”
予約が表示され、予約時刻表示が点滅から点灯に変わり、その後現在時刻に戻ります。

予約の設定は予約運転ごとに
毎回行ってください

予約を取消したいときは ※リモコンの運転スイッチの「入」「切」に関係なく操作できます

もう一度、ふろ予約ボタンを押します。音声ガイドが流れます。“予約、解除されました”
リモコンの予約表示が消えて予約が取消されます。
すでにお風呂沸かしが始まってふろ自動ランプが点灯しているときにはふろ自動スイッチを押してください。
運転が停止します。



- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるとき、また気温によって多少前後する場合があります。
- 出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
- 設定時に△または▽ボタンを押さないで約10秒後に確定となります。
- 予約時刻は記憶されますので毎回セットする必要はありません。ただし、停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。
- リモコンに予約表示が表示されたあとは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また予約「入」かつ、運転「切」の状態ではふろ予約ボタンを押すと予約は解除されます。

暖房運転をするには

システムエアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。操作はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

■放熱器の運転/停止

〈放熱器に運転スイッチがあり、信号線を接続している場合〉

放熱器の運転

放熱器の運転スイッチ「入」にします。

浴室リモコンのふろ/暖房燃烧表示 \uparrow と台所リモコンの暖房燃烧ランプが点灯します。しばらくしてファンが回り、暖かい空気が出てきます。



放熱器の停止

放熱器の運転スイッチ「切」にします。

浴室リモコンのふろ/暖房燃烧表示 \uparrow と台所リモコンの暖房燃烧ランプが消灯します。放熱器の運転が停止します。



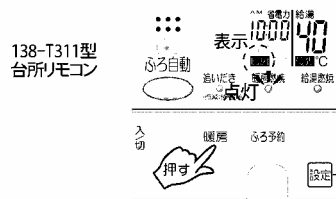
■暖房スイッチ付台所リモコンでの運転/停止

〈放熱器に運転スイッチがない場合や信号線を接続していない場合〉

放熱器の運転

放熱器のバルブを開け、台所リモコンの暖房ボタンを押します。

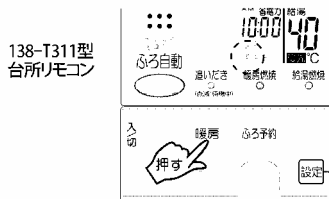
浴室リモコンのふろ/暖房燃烧表示 \uparrow と台所リモコンの暖房表示および暖房燃烧ランプが点灯します。



放熱器の停止

台所リモコンの暖房ボタンを押します。放熱器のバルブを閉じます。

浴室リモコンのふろ/暖房燃烧表示 \uparrow と台所リモコンの暖房表示および暖房燃烧ランプが消灯します。



※運転スイッチが「切」の場合でも暖房表示が表示されます。



- リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく暖房運転ができます。
- 放熱器に運転スイッチがない場合は、暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用ください。
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器の取扱説明書をご覧ください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。

■浴室予備暖房について

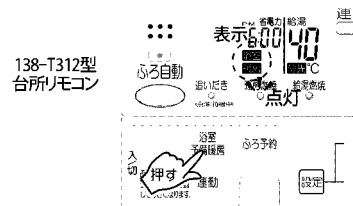
浴室予備暖房ボタンがついているリモコンで使用できる機能です。台所から、浴室暖房乾燥機の運転「入」/「切」ができます。

■浴室予備暖房スイッチ付き台所リモコンでの運転/停止

浴室暖房乾燥機の運転

台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押します。

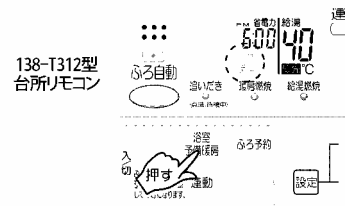
浴室リモコンのふろ/暖房燃烧表示 \uparrow と台所リモコンの浴室・暖房表示および暖房燃烧ランプが点灯します。しばらくすると、浴室暖房乾燥機が動きはじめます。



浴室暖房乾燥機の停止

台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押します。

浴室リモコンのふろ/暖房燃烧表示 \uparrow と台所リモコンの浴室・暖房表示および暖房燃烧ランプが消灯します。浴室暖房乾燥機の運転が停止します。



- ※運転スイッチが「切」の場合でも浴室および暖房表示が表示されます。
- ※電源投入時、機器が浴室暖房乾燥機の確認をするまで浴室予備暖房ボタンを受け付けられない場合があります。



- リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく浴室予備暖房運転ができます。
- 浴室リモコンのふろ/暖房燃烧表示 \uparrow や台所リモコンの暖房燃烧ランプは、リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく、浴室暖房乾燥機の運転状態により点灯および消灯をします。
- 浴室暖房乾燥機の温度調節・運転時間等については、浴室暖房乾燥機の取扱説明書に従ってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 浴室暖房乾燥機付属のリモコンで暖房（浴室予備暖房）運転を行っているときに、138-T312型の台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押すと運転が停止します。
- 浴室暖房乾燥機で暖房（浴室予備暖房）以外の運転を行っているときに、138-T312型の台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押すと、暖房（浴室予備暖房）運転に切り替わりますので注意してください。

暖房運転をするには

■連動について

連動ボタンについているリモコンで使える機能です。ふろ自動運転と浴室予備暖房運転を行います。

運転スイッチ「入」を確認し

台所リモコンの連動ボタンを押します。

ふろ自動スイッチが赤で点灯します。

画面に浴室・暖房・連動表示が表示され

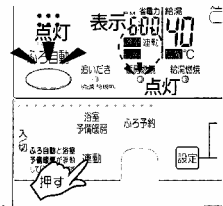
暖房燃焼ランプが点灯します。

音声ガイドが流れます。

“お湯張りを始めます おふろの栓はしましたか”

ふろ自動運転と浴室暖房乾燥機の運転が始まります。

138-T312型
台所リモコン



運動中に運転を停止させるには

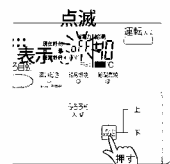
- ・浴室暖房運転とふろ自動運転を停止→連動ボタンを押します。ふろ自動ランプが消灯、浴室・暖房・連動表示が消えます。
- ・ふろ自動運転のみを停止→ふろ自動スイッチを押します。ふろ自動ランプが消灯、連動表示が消えます。
- ・浴室暖房運転のみを停止→浴室予備暖房ボタンを押します。浴室・暖房・連動表示が消えます。

■暖房静音について

暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。一度、暖房静音をセットしておけば、運転「切」の状態でも、毎回暖房静音運転になります。ただし、停電や電源プラグを抜くなどで30分以上通電が停止したときは、再びセットが必要です。

■暖房静音の設定/解除 工場出荷時にはOFFに設定されています。

暖房静音の設定

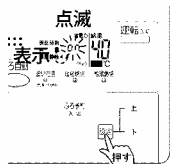


設定ボタンを3回押し、◀が暖房静音の右側に点灯して表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
“静音です 上下ボタンで入力してください”



▲または▽ボタンでON表示を選択後、しばらくたつと確定となります。
音声ガイドが流れます。
“静音、セットされました”

暖房静音の解除



設定ボタンを3回押し、◀が暖房静音の右側に点灯して表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
“静音です 上下ボタンで入力してください”



▲または▽ボタンでOFF表示を選択後、しばらくたつと暖房静音表示が消え解除となります。
音声ガイドが流れます。
“静音、解除されました”

※運転スイッチが「切」の場合でも暖房静音表示が表示されます。

- リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく暖房静音の設定ができます。
- 暖房静音運転中に給湯・追いだし運転・ふろ自動運転を行うと、暖房運転音が静かにならない場合がありますが異常ではありません。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

給湯

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき

この機器には、気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動し、機器内を保温する凍結予防装置がついています。機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

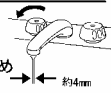
寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

- 自動凍結予防装置は電源プラグを抜くか電源ブレーカーを切るなど作動しません。絶対に電源プラグを抜いてください。
- 機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材で被覆してください。
- 次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。
- 2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc（牛乳びん2本くらい）の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分程後にもう一度流量を確認してください。



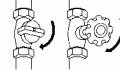
- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のため水を流していることをお知らせください。水を止めるまで凍結します。

■機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防します。排水後は、次にお使いになるまでそのままそのままとしておいてください。

- 使用後すぐに水抜きをしない、やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

- 1 ガス栓・給水元栓を閉めます。
- 5 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にし、たし湯ボタンを5秒間押し続けず。

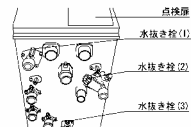


- 2 全ての給湯栓を全開にします。

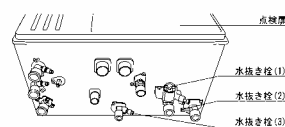


- 3 浴槽の水（お湯）を排水します。

- 4 水抜き栓 (1) (2) (3) を外します。



(図は135-T700・T710型を示します)



(図は135-T720型を示します)

- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後は必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P.40参照）

- 水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 水抜きをしたあとは、浴槽へ水を流し込まないでください。

冬期の凍結予防をするには

暖房

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき
この機器には、気温が下がってくると自動的に暖房タンクの水（湯）を循環して暖房運転（燃焼）し、暖房回路内の水を暖め凍結を予防します。回路内が暖まると暖房運転を停止します。通常は機器および放熱器の電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にし、ガス栓を開いておけば凍結予防できます。凍結予防装置は運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、不凍液による方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

- お願い**
- 方法は放熱器によって異なります。
 - 電源プラグがコンセントから抜けていたり、電源ブレーカーが切れていると作動しませんのでご注意ください。
 - この方法では、機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、必ず保温材を巻くなどの措置をしてください。

■不凍液による方法

- 寒冷地では不凍液を使用してください。
- 暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。
- 不凍液を使用しているか、フロントカバーの不凍液注入識別ラベルを確認してください。

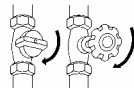
■機器の水を抜く方法（不凍液が入っている場合、水抜き操作は行いません）

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し、凍結予防します。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

- 注意**
- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
 - 機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

- 給湯・ふろの水抜き操作に引き続き暖房の水抜きを行う場合は、再度電源プラグを差し込みます。給湯側の水を抜いてから行います

- 1 ガス栓・給水元栓が閉じていることを確認します。



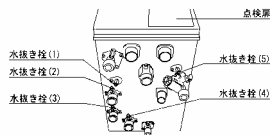
つぎに暖房回路内の水を抜きます

- 3 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にし、たし湯ボタンを5秒間押し続けます。



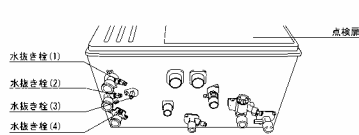
※水抜き栓から完全に水がでるまで10分位そのままにしてください。

- 2 水抜き栓（1）（2）（3）（4）を外します。135-T700・T710型は（5）も外します。



（図は135-T700・T710型を示します）

- 4 完全に水がでたら、電源プラグを抜きます。



（図は135-T720型を示します）

- 注意**
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P.40参照）

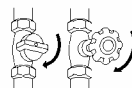
- お願い**
- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や放熱機内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

■凍結してしまったとき

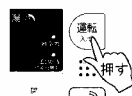
凍結したときは、給湯栓を開けても水がでません。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

- 1 ガス栓・給水元栓を閉じます。

配管が破裂していた場合の水漏れを防止する目的です。



- 2 リモコンの運転スイッチを「切」にします。



- 3 ときどき、給水元栓と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。給水元栓を開け、機器および配管から水漏れがないことを確認してください。ガス栓を開けます。

- 4 リモコンの運転スイッチを「入」にします。



- お願い**
- 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額な修理費（有料）がかかる場合があります。

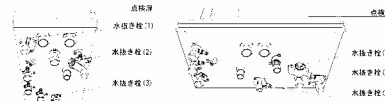
- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破裂することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなどして、水漏れしていないことをご確認ください。

- 機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理費用はお客様の負担となります。

■再使用する時

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓（1）（2）（3）を閉じます。



（図は135-T700・T710型を示します） （図は135-T720型を示します）

- 3 給水元栓・ガス栓を開けます。浴槽のふろアダプターから水が出ますが、電源を入れると水は止まります。

- 4 電源プラグをコンセントに差し込みます。水漏れがないことを確認します。

- 5 リモコンのふろ温度・ふろ水位・給湯温度・現在時刻・予約時刻等を設定し直します。（→P.13～参照）

- 2 全ての給湯栓を閉じます。



通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンにアラーム番号“543”“173”が出る場合放熱器側の運転とリモコンの運転スイッチを一旦「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

- 注意**
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P.40参照）

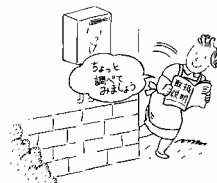
- お願い**
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント (月1回程度)

次の7つのポイントで点検してください。

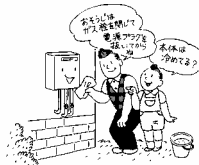
- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえますか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口（屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ）のそばに燃えやすいものはありますか？ また、整然とされていますか？
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていたり、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が浸入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 給気口・排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）が塞がれていませんか？
給気口・排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には給気口・排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 7 給排気筒（給排気筒トップを含む）の損傷やつまり、外れていることはありませんか？（屋内設置形のみ）



■お手入れのしかた (月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ (有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

! ご注意ください



- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

- お願い**
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
 - 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

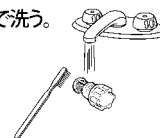
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築等の場合）

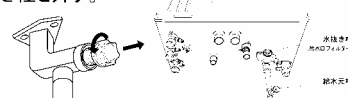
- 1 給水元栓を閉じて、給湯栓を開ける。



- 3 歯ブラシなどで洗う。



- 2 給水接続口にある水抜き栓を外す。（図は135・1720型を示します）



- 4 元のように取り付ける。



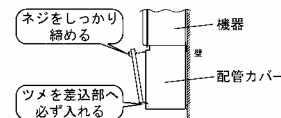
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

配管カバー（または据置台）のフロントカバーについて

配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



お願い ●給水口フィルターを外すと水が出ます。

水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。

- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に 表示が出ない	省電力の待機中ではありませんか (→14ページ) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→12ページ) 停電していませんか (→5ページ)
アラーム番号「152」が点滅し、 動作しない	浴槽に水が入っていますか (→19・23 28・29ページ)
給湯燃烧表示 ^④ が表示しない (台所リモコンは、給湯燃烧ランプが 点灯しない)	ガス栓が全開になっていますか (→12ページ) 給水元栓が全開になっていますか (→12ページ) 断水していませんか
お湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→15ページ)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→15ページ) 温度調節は適切ですか (→15ページ) 混合水栓やサーモミキシングバルブを使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃にセットしてください
追いただき動作ランプが点灯しな い	ガス栓が全開になっていますか (→12ページ) 給水元栓が全開になっていますか (→12ページ) 断水していませんか 浴槽に水が入っていますか (デラックスタイプのふろアダプター使用の場合)
おふろ使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか (→12ページ)
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度のセットは適切ですか (→20ページ)
浴槽の水が少ない(多い)	ふろ水位のセットは適切ですか (→21ページ)
暖房がきかない(ききが悪い)	ガス栓が全開になっていますか (→12ページ) 放熱器の温度設定は適切ですか 床暖房は暖まるまでに時間がかかる場合があります

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。
まずは次の点を確認してください。

■こんな時は故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約3.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき 低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
寒い日排気口から白い湯気が 出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
給湯栓を開いてもすぐに お湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの 回転音がる	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転音がかかります。
追いただきスイッチを押した後 なかなかお湯が出てこない	スタンダードタイプのふろアダプターを使用していて空だきした場合、ふろ配管内に残った熱いお湯がさめるまで、開始時間がかかることがあります。そのままお待ちください。
時計表示が合っていない	30分以上の停電後、再通電すると表示画面がAM1:00になります。なお、ふろ水位・温度設定・予約時刻・保温時間等も初期状態に戻りますので再設定してください。
機器のオーバーフロー口から、 少量の水が流れることがある	スタンダードタイプのふろアダプターを使用していて空だきした場合、構造上、一時的に水(湯)が出る場合がありますが、故障ではありません。残り湯がふろアダプターより上にあることを確認してください。
給湯栓を開けたとき お湯の量が変わる	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。
暖房ポンプがときどき 自動的に回る	エア抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので故障ではありません。
床暖房を使用していないのに 床が暖まることもある	暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の暖房端末(浴室暖房等)を利用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは
お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

※本機は省エネ機器です。

故障かな?と思ったら

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム番号	内容	処置方法	使用状況	アラーム番号	内容	処置方法	使用状況
002	ガス供給なし検知	給湯栓を閉じてリセット	ふる調運転	393	サーモカップル異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
011	給湯50分以上停止	給湯栓を閉じてリセット	給湯	422	注湯センサー異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
030	床対応ガス検出	修理を依頼する		433	燃焼水検出異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
032	床対応ガス検出異常	給湯栓を閉じてリセット		510	元ガス電磁弁故障	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
100	燃焼異常警告	修理を依頼する		513	燃焼ガス電磁弁故障	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
111	給湯側燃焼不良	ガス検知器リセット		543	燃焼温度異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
113	燃焼側燃焼不良	ガス検知器リセット		562	注湯電磁弁異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
121	給湯側燃焼不良	修理を依頼する		610	燃焼ファン回転異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
123	燃焼側燃焼不良	修理を依頼する		623	ポンプ異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
130	給湯側燃焼異常	修理を依頼する		650	圧力分配弁異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
140	床対応ガス検出異常	修理を依頼する		652	注湯水制御異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
152	凍結防止	凍結防止装置リセット		661	ミネリング弁異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
170	熱交換異常	修理を依頼する		700	電圧異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
173	給湯側給湯水異常	修理を依頼する		702	ふろリモコン異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
311	出湯センサーミス故障	修理を依頼する		710	ガス電磁弁動作異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
313	床対応センサーミス故障	修理を依頼する		720	燃焼側燃焼異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
321	入水センサーミス故障	修理を依頼する		740	台所リモコン通信異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
323	凍結予防センサーミス故障	修理を依頼する		750	浴室リモコン通信異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
331	混合センサーミス故障	修理を依頼する		750	インフラジントハーコン通信異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
332	ふろアダプターミス異常	修理を依頼する		800	給湯側燃焼異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
333	燃焼側燃焼センサーミス異常	修理を依頼する		903	排気リサイクル異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
342	注湯温度センサーミス異常	修理を依頼する		930	自己診断燃焼異常	給湯栓を閉じてリセット	凍結予防装置
380	C0センサー異常	修理を依頼する					

リセット操作 運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。
 ※アラーム番号「152」の場合は、リセット操作を行っても解除できない場合があります。その場合は、電源リセット（電源プラグを抜いて、5秒以上経過してから、再度差し込み）を行ってください。

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に、補足の番号が出る場合があります。ご連絡の際は、アラーム番号とあわせてお知らせください。
 給湯側のアラーム、異常停止、警告表示の場合は給湯温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。その他のアラーム、異常停止、警告表示の場合はふろ温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。

ご注意ください ●機器のオーバーフローから、絶えず水が流れている場合は、補給水電磁弁の故障の可能性があります。このような場合は給水元栓を閉め、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

こんな場合には安全装置が働きます ()はアラーム番号
 ●寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を防止します。……………凍結予防装置
 ●バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスが自動的に停止します。(121・123)……………立消え安全装置
 ●電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……………漏電安全装置
 ●給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(720)……………残火安全装置
 ●機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(140)……………過熱防止装置
 ●機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。……………過圧防止安全装置

★ ●アラーム番号「380-**」はC0センサーに関するアラームですので、このエラーが出たら、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
 ●アラーム番号「380-01」「380-02」が表示されたときは、C0センサーの交換が必要なため、修理を依頼してください。機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅し続けます。点滅時はリモコンの給湯温度が表示されませんので、温度を確かめてから使用してください。
 ●アラーム番号「380-03」が表示されたときは、C0センサーの交換が必要なため、修理を依頼してください。機器は使用できません。
 ●アラーム番号「111」「121」が表示されたときは、給湯栓を閉じることにより、アラームが解除される場合があります。
 ●アラーム番号「152」は、給湯栓がわずかに開いている場合に、表示されます。その場合は、給湯栓を閉じることにより、アラームが解除される場合があります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 41～43ページの「故障かな?と思ったら」の項をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらなくて、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2)品名(例)135-T710型
(ガスの種類例えば13A)
 - (3)現象(故障または異常内容、アラーム番号などでできがけ詳しく)
 - (4)訪問ご希望日

保証について

- この給湯暖房機には保証書が付いています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、保証期間内であっても修理費をいだけることがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品の補修用性能部品(機能維持のため必要な部品の)保有期間は製造打切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のごガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きくなるような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設ともなる調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を開きます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、36・37ページを参照してください)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

※長期間使用しない場合は、必ずこの操作を行ってください。

仕様一覧

【仕様表】

項目	内容			
品名	135-T710型	135-T712型	135-T713型	135-T715型
型式	GH-167AAWS	GH-167AATS	GH-167AATNS	GH-167AABS
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅248×奥行380×高さ776/30			
種給湯方式	先止め式			
類暖房方式	温水循環方式			
設給排気方式	屋外強制排気方式			
置方式	屋外設置形			
点火方式	給湯・暖房 AC100V連続放電式(ダイレクト着火)			
水使用水圧	100~500kPa(1.0~5.0kgf/cm ²)			
水最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)			
探給暖湯	3.5ℓ/分			
探給暖房	0ℓ/分以上(締切り使用可)			
消費電力	200W		210W	
電気	凍結予防作動時 235W			
接給水・給湯	20A(R3/4オネジ)			
暖低温往き	20A(R3/4オネジ)			
暖高温往き	QF16ジョイント			
房戻り	QF16ジョイント			
追いだき(注湯)	QF16ジョイント			
続オーバーフロー	15A(G1/2オネジ)			
電	15A(R1/2オネジ)			
安全装置	本体電源 AC100V(50/60Hz) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心 ファン回転検出装置(回転検出方式) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 残火安全装置(バイメタル式) 誘導電保護装置(サージアブソーバー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空たき安全装置(バイメタル式) 空たき防止装置(水量センサー・水位電極)			

【能力表】

使用ガス 使用ガスグループ	時間あたりのガス消費量kW {kcal/h}	出湯能力(最大)ℓ/min		能力kW {kcal/h}		ガス接続			
		給湯(最大)	暖房	水溫+25℃上昇	水溫+40℃上昇		追いだき	暖房	
都市ガス	13A	52.3(145,000)	52.3(145,000)	10.2(8,800)	24.0	15.0	13.2(11,340)	8.14(7,000)	20A(R3/4)
LPガス	13A	45.1(38,800)	34.9(30,000)	10.2(8,800)	16.0	10.0	13.2(11,340)	8.14(7,000)	20A(R3/4)
LPガス	13A	45.1(38,800)	34.9(30,000)	10.2(8,800)	16.0	10.0	13.2(11,340)	8.14(7,000)	20A(R3/4)

- ① ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
- ② 出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高めめに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
- ③ 本体仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

昇り給湯専用

【仕様表】

項目	内容			
品名	135-T700型	135-T702型	135-T703型	135-T705型
型式	GH-247AAWS	GH-247AATS	GH-247AATNS	GH-247AABS
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅248×奥行380×高さ776/30			
種給湯方式	先止め式			
類暖房方式	温水循環方式			
設給排気方式	屋外強制排気方式			
置方式	屋外設置形			
点火方式	給湯・暖房 AC100V連続放電式(ダイレクト着火)			
水使用水圧	100~500kPa(1.0~5.0kgf/cm ²)			
水最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)			
探給暖湯	3.5ℓ/分			
探給暖房	0ℓ/分以上(締切り使用可)			
消費電力	200W		210W	
電気	凍結予防作動時 235W			
接給水・給湯	20A(R3/4オネジ)			
暖低温往き	20A(R3/4オネジ)			
暖高温往き	QF16ジョイント			
房戻り	QF16ジョイント			
追いだき(注湯)	QF16ジョイント			
続オーバーフロー	15A(G1/2オネジ)			
電	15A(R1/2オネジ)			
安全装置	本体電源 AC100V(50/60Hz) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心 ファン回転検出装置(回転検出方式) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 残火安全装置(バイメタル式) 誘導電保護装置(サージアブソーバー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空たき安全装置(バイメタル式) 空たき防止装置(水量センサー・水位電極)			

【能力表】

使用ガス 使用ガスグループ	時間あたりのガス消費量kW {kcal/h}	出湯能力(最大)ℓ/min		能力kW {kcal/h}		ガス接続			
		給湯(最大)	暖房	水溫+25℃上昇	水溫+40℃上昇		追いだき	暖房	
都市ガス	13A	52.3(145,000)	52.3(145,000)	10.2(8,800)	24.0	15.0	13.2(11,340)	8.14(7,000)	20A(R3/4)

- ① ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
- ② 出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高めめに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
- ③ 本体仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。